

# 平成23年度決算知名町の財務諸表を公表します

(平成23年4月～平成24年3月)

## 新地方公会計制度のはじまり

これまで地方公共団体の会計制度は、その年ごとの収支の動きを、現金主義の簿記(現金主義)で記述し、そのための問題点がいろいろあり、

そこで国は、平成28年8月に「地方公共団体の会計制度」を定める方針を打ち出した。これが「新地方公会計制度」の導入による。従来の「複式簿記」から「単式簿記」への変更が、

また、普通会計だけでなく、行政も把握できるように、財務諸表の作成方式を「総務省方式」に統一する。また、



## 財務諸表とは？

### 「貸借対照表」(財源の調達源)

資産や負債の状況を表すもの。左側に資産、右側に「負債」と「純資産」が記載され、左右が一致することから「バランス・シート」と呼ばれています。

### 「行政コスト計算書」(利益と損失)

行政サービスを行う上でかかったコストを表すもの。主に人件費や物にかかるコストを表しています。公共施設の使用にあたって徴収された使用料など町の収入もここに表示されます。

### 「純資産変動計算書」(純資産の変動)

純資産の1年間の変動内容を表すもの。純資産とは、国庫の負担や、これまでの世代が負担してきた財産のことです。

### 「資金収支計算書」(現金の流れ)

資金収支の状況を性質別に3つの区分で表すもの。資金収支とは、資金の増加または減少を意味し、「行政活動」「投資活動」「財務活動」それぞれのおよび用途を明らかにしたものです。

以上の4つを総称して、一般的に**財務諸表**といわれています。

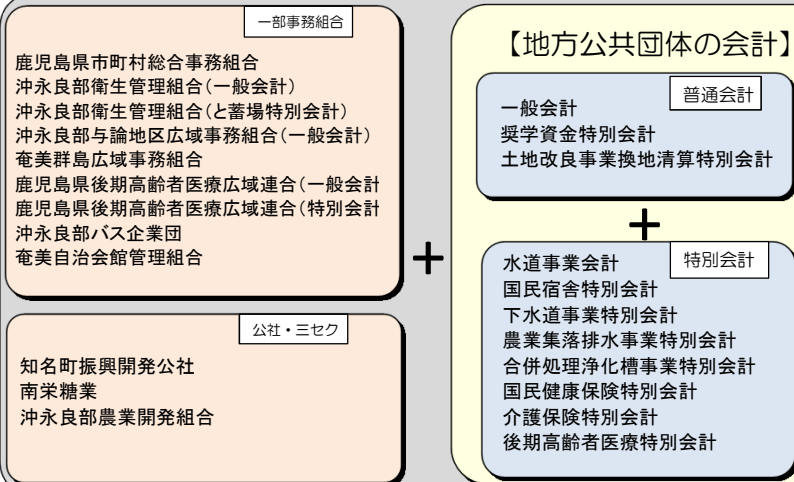


地方公共団体は、普通会計だけでなく、行政も把握できるように、財務諸表の作成方式を「総務省方式」に統一する。また、

### ◆知名町の連結財務諸表の範囲◆

### 【地方公共団体の会計】

### 【連結財務諸表の範囲】



### 普通会計って？

地方公共団体の会計で、一般会計と公営事業会計を除く特別会計を合算したものです。

### 第三セクターって？

国や地方公共団体と民間の共同出資による事業体のことです。

### 一部事務組合って？

自治体が、消防活動やごみ収集などの事務を共同で行うために設置している組合のことです。



# 平成23年度決算知名町の財務諸表（普通会計）

## 行政コスト計算書 (PL)

行政コスト計算書とは：  
1年間の経常的な行政コスト（費用）に対して、使用料・手数料などの受益者負担（収入）がどのくらいか、また、その差額である純経常行政コスト（損益）がどのくらいになるかが分かります。

## 経常費用

【人にかかるコスト】  
職員給与、議員報酬や賞与引当金、退職手当引当金の繰入金など  
【物にかかるコスト】  
物品の購入・光熱水費・施設維持費・減価償却費など  
【移転支出的なコスト】  
社会保障の給付や他会計への繰出金等  
【その他のコスト】  
支払利息など

## 経常収益

行政サービスの直接の対価である「使用料・手数料」と「分担金・負担金・寄付金」など

## 貸借対照表 (BS)

貸借対照表とは…

これまで整備してきた「資産（財産）」に対して、資金の調達方法がわかります。将来の世代が負担する額が「負債（借金）」で、これまでの世代が負担してきた額が「純資産（これまでの財産）」になります。

## 資産の部

【公共資産】  
道路や学校など、自治体が保有する資産の総額  
【投資等】  
特定の目的で積み立てた基金や出資金など

【流動資産】  
現金・財産など現金化しやすい資産

## 負債の部

地方債の残高や退職手当引当金など、将来世代が負担する総額

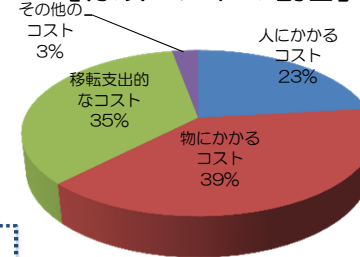
【資産の部】		【負債の部】	
公共資産	25,900,197	固定負債	7,191,055
投資等	772,957	地方債	6,175,047
投資及び出資金	145,779	退職手当引当金	1,016,008
基金等	439,171	その他	0
その他	188,007	流動負債	634,936
流動資産	900,411	翌年度償還予定地方債	579,786
現金・貯金	882,315	賞与引当金	55,150
(うち歳計現金)	109,732	その他	0
未収金	18,096	負債合計	7,825,991
		<b>【純資産の部】</b>	
資産合計	27,573,565	純資産合計	19,747,574
		負債+純資産 合計	27,573,565

(単位：千円)

区分	金額
経常費用	4,725,417
人にかかるコスト	1,095,852
物にかかるコスト	1,848,614
移転支出的なコスト	1,646,321
その他のコスト	134,630
経常収益	312,154
使用料・手数料	150,455
分担金・負担金・寄付金	161,699
<b>純経常行政コスト</b>	<b>4,413,263</b>

(単位：千円)

## 【行政コストの割合】



## 純資産変動計算書 (NW)

純資産変動計算書とは：  
これまでの世代が、資産形成をするために負担してきた額（純資産）が、1年間でどのように変動したのかがわかります。

【経常的収入】  
地方税など、自治体の経常的な収入  
【臨時損益】  
災害が発生した場合の臨時的な費用

前年度末の純資産残高	19,760,852
純経常行政コスト	-4,413,263
経常的収入	4,410,147
臨時損益	-10,019
その他	-143
<b>当年度末の残高（純期末資産残高）</b>	<b>19,747,574</b>

(単位：千円)

## 資金収支計算書 (CF)

資金収支計算書とは：  
1年間の活動区分別の資金収支（お金の流れ）がわかります。  
経常収支の余剰分を多額の資金が必要ない収入にどの程度あてられるのかが分かります。

このつとまりは収入と支出の差額を示します。

純資産の方が負債より多いほど健全な財政運営ができています。



前年度末の資金残高	185,560
経常的収支	1,147,638
公共資産整備収支	-270,433
投資・財務的収支	-953,033
当年度の資金変動額	-75,828
<b>当年度末の残高</b>	<b>109,732</b>

(単位：千円)



# 平成23年度決算知名町の財務諸表（連結）

## 連結行政コスト計算書 (PL)

連結行政コスト計算書とは：1年間の経常的な行政コスト（費用）に対して、使用料・手数料などの受益者負担（収入）がどのくらいか。また、その差額である純経常行政コスト（損益）がどのくらいになるかが分かります。

### 経常費用

- 【人にかかるコスト】職員給与、議員報酬や賞与引当金、退職手当引当金の繰入金など
- 【物にかかるコスト】物品の購入・光熱水費・施設維持費・減価償却費など
- 【移転支出的なコスト】社会保障の給付や他会計への繰入金など
- 【その他のコスト】支払利息など

### 経常収益

行政サービスの直接の対価である「使用料・手数料」と「分担金・負担金・寄付金」など

## 連結貸借対照表 (BS)

連結貸借対照表とは…

これまで整備してきた「資産（財産）」に対して、資金の調達方法がわかります。将来の世代が負担する額が「負債（借金）」で、これまでの世代が負担してきた額が「純資産（これまでの財産）」になります。

### 資産の部

- 【公共資産】道路や学校など自治体が保有する資産の総額
- 【投資等】特定の目的で積み立てた基金や出資金など
- 【流動資産】現金・貯金（基金）など短期間で現金化しやすい資産
- 【繰延勘定】本来は費用または収益だが、資産として処理された勘定

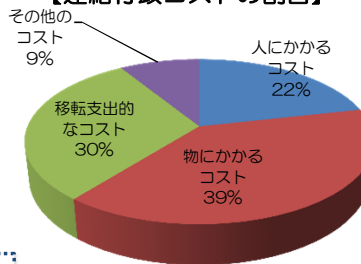
### 負債の部

地方債の残高や退職手当引当金など、将来世代が負担する総額

【資産の部】		【負債の部】	
公共資産	39,225,685	固定負債	13,829,071
投資等	950,388	地方債	10,294,009
投資及び出資金	103,819	退職手当引当金	1,247,880
基金等	625,502	その他	2,287,182
その他	221,067	流動負債	2,513,319
流動資産	2,635,964	翌年度償還予定地方債	957,919
→ 資金	1,643,634	賞与引当金	69,886
未収金	933,979	その他	1,485,514
その他	58,351	負債合計	16,342,390
繰延勘定	994		
資産合計	42,813,031		
		【純資産の部】	
		純資産合計	26,470,641
		負債+純資産 合計	42,813,031

(単位：千円)

## 【連結行政コストの割合】



(単位：千円)

区分	金額
経常費用	10,936,238
人にかかるコスト	2,352,767
物にかかるコスト	4,288,225
移転支出的なコスト	3,326,430
その他のコスト	968,816
経常収益	4,687,264
使用料・手数料	168,291
分担金・負担金・寄付金	641,996
その他	3,876,977
純経常行政コスト	6,248,974

(単位：千円)

## 連結純資産変動計算書 (NW)

連結純資産変動計算書とは…これまでの世代が、資産形成をすすめるために負担してきた額（純資産）が、1年間でどのように変動したのか（財産の動き）がわかります。

- 【経常的収入】地方税など、自治体の経常的な収入
- 【臨時損益】臨時発生した費用の臨時的な費用

純資産の方が負債より多いほど健全な財政運営ができています。



## 連結資金収支計算書 (CF)

連結資金収支計算書とは…1年間の活動区分別の資金収支（お金の流れ）がわかります。経常収支の余剰分を、多額の資金が必要ない資産整備や投資・財務的収支にどの程度の投資がなされているかがわかります。

つとまり資金収支計算書の内訳を示します。

前年度末の資金残高	
経常的収支	1,553,625
公共資産整備収支	-421,213
投資・財務的収支	-1,471,342
翌年度繰上充用金増減額	0
当年度の資金変動額	-338,930
当年度末の残高	1,643,634

(単位：千円)

前年度末の純資産残高	
純経常行政コスト	-6,248,974
経常的収入	6,075,629
臨時損益	-10,019
その他	129,887
当年度末の残高（純期末資産残高）	26,470,641

(単位：千円)

